

PC128USiで届いた！予想以上に綺麗な仕上がり

深さが12メートルの現場を
丁張レスで

今回の現場は北海道遠軽町（えんがるちょう）の道路改良工事。高規格道路を造る工事だ。施工するのは網走市に拠点を置く窪田建設(株)様。土木部長の岸田さんに導入の経緯を聞いた。「以前、別の現場でICT建機を導入し、丁張レスで効率の良い施工を実現しました。今回の現場は地盤沈下を想定した事で、掘削深さが12mほどある施工計画でした。高低差が激しいので、丁張を設置するのが困難だと判断し、ICT建機の導入を決めました。」と教えてくれた。また、「この道東地域はICT建機の普及率が高く、ICT建機を導入することに抵抗はなかったのですが、私が担当する現場ではICT建機を導入する機会がありませんでした。そのためコスト面で高いイメージを持っていましたが、安全面を考えても今回導入しようと思いました。」とも話した。



土木部長 岸田康裕さん

オペレータ 小嶋祐太さん
((株)尾崎建機様)北海道
窪田建設(株) 様

創業 大正5年
伝統に培われた技能と優れた
先端技術を駆使し
より豊かな生活の空間の創造
に取り組んでいます

掲載月:2018年4月

設計変更も
すぐに施工に取り掛かれる

オペレータの(株)尾崎建機の小嶋祐太さんに感想を聞いた。「初めてのICT建機でしたが、操作は簡単で設計面の高さもすぐに理解出来ました。とても使いやすい建機です。従来建機のように誘導する作業員とのやり取りも無く時間短縮に繋がりました。それに設計面を傷つける心配も無いので安心して施工することが出来ました。何よりも丁張が全く必要ない事に驚きました。丁張が無くなった事で法肩ギリギリまで車両を近づける事が出来るので、従来建機であれば届かない場所まで作業機を伸ばす事が出来ました。」と教えてくれた。この現場では何度か設計変更があったが、データ修正後すぐにスマートコンストラクションアプリから転送し施工に取り掛かれたそう。最後に岸田部長は、「予想以上に綺麗な仕上がりでしたよ。」と話した。

